



『狂言』

とは何？

狂言とは言わば室町時代のコント！演者の声や身体のみで当時の庶民の日常生活の中での喜怒哀楽を表現する日本の伝統芸能の1つです。

同音異義語を使った言葉遊びや、ごまかすために動物の真似をしたりなど子供にも楽しめるシンプルなユーモアが特徴。オペラと比喻される能と同じく、能舞台という専用の舞台上で上演され、謡や舞、囃子が活用される芸能です。演者は2人から3人で上演できるものが大半、上演時間は30分内外となっております。

そんな狂言の世界を、基礎として習う狂言小舞を中心に極めたり、なるべくたくさん狂言に挑戦してみたり、見るのを中心にサポートに回ったりと自分のペースで学べる狂言研究会です！

～六狂連～

Twitter: @rokkyoren
Instagram: rokkyoren
HP: 「六狂連」で検索



野村萬齋師監修の狂言サークル団体「六大学狂言研究会連絡協議会」略して『六狂連』！

お茶の水女子大学、共立女子大学、成城大学、東京大学、東京女子大学、早稲田大学の狂言研究会が参加しています。いずれも人間国宝・野村万作師が主催し萬齋師も所属する「万作の会」の狂言師に師事しており、現在、共立・東女・早稲田は中村修一師、お茶大・成城・東大は内藤連師に師事しています。前者が中村組、後者が内藤組と呼ばれ同じ組のメンバーとは特に仲良くなれます♪互いの組との交流も盛んです！

今は慶應義塾大学や昭和女子大学、多摩美術大学などから入部してる方もいます～！

Q&A



Q 他の活動と両立できるの？

演技初心者でも大丈夫！

A 練習は週1、2回程度、また自由参加のため他の活動との両立可能！バイトや兼サークルをしてる部員がほとんどです。

六狂連Twitterアカウントから各大のツイートがすぐ確認できます♪各大最新情報はここからチェック！→



Q 他大との交流は？

A 六狂連は他大との交流が盛ん！同じ師範の組の大学とは毎月の稽古が一緒ですし、他の組とは合宿や会議で交流を深められます。他大の練習に出稽古で参加することもできます！

Q 練習着は必要？

A 練習は普段着でOK！特にズボンがオススメです♪本番は装束を着て能舞台に立つ貴重な体験ができます。小舞では紋付袴を着ますが各大学用意がありますので購入は不要です。

Q 費用はどのくらい？

A 入部時に足袋と扇（6500円で購入）が必要になります。また師範稽古のお稽古代、公演の際の演目代や装束代がその都度かかります。師範稽古も自由参加なので参加頻度によって変わってくるので詳細は部員にお尋ねください！

例えると、習い事をしてる感覚です♪

公演

5月に行われる六狂連の自演会『蟬の会』
夏に行なわれお茶大、東大が参加する『文京区謡曲大会』
各大学の学祭のころに行なわれる『秋季自演会』
などがあります。

その中には実際の装束を着付けてもらって
能舞台に立つことができるものも…！



師範稽古では
お稽古はしっかりしつつ
合間には団樂としたり



装束を着て能舞台に立つなんて
今しかできない貴重な体験！

交流

師範稽古はもちろん！
万作の会の稽古場であるよいや舞台で
夏に行なわれる『虫干し』
年の瀬に行なわれる『大掃除』
など指導していただいている先生方以外の
狂言師の方々と交流する機会も…！
装束やお道具を近くで見ることができます♪

師範稽古をみて
入部を決めた人も
多いです！
ぜひ見学に
お越し下さい〜



合宿

夏休みに行われる『夏合宿』
師範が違う大学の方々と先生方との交流が深められるチャンス！
合宿場所は都内近郊のため参加しやすいです♪
春休みには関西の
京大&同志社大能楽部狂言会（京都学生狂言研究会KGKK）
との合同合宿『東西合宿』も！
どちらも自由参加です



夏合宿は
先生方もいらっしゃるので
お稽古がいつもより充実したものに

みる

狂言研究会ではみる機会も沢山！
新歓では少しでも興味を持って下さったみなさんを
『早稲田狂言の夕べ』『野村狂言座』
に無料ご招待！
他にも学生料金でみられる舞台が
沢山あります！
この特権は六狂連だけ！

『狂言ござる内陣』
『このあたりの会』
『万作を観る会』
などなど
萬壽先生や
中村先生、
内藤先生の舞台を
みられる機会が
たくさんある

